

愛知県では、中国江蘇省との経済連携協定に基づき、江蘇省に進出している県内企業支援のため、「愛知県江蘇省サポートデスク」を運営しています。

私共、上海納克名南企業管理諮詢有限公司が愛知県から業務委託を受け、2024年度の運營業務を担っております。

進出企業の皆様の関心があると思われる内容につき、今年度12回目となるメールマガジンを配信させていただきます。

最後までお読みいただければ幸いです。

愛知県江蘇省サポートデスク メールマガジン 2024 vol.12

3月19日 意見交換会@蘇州 開催報告

3月19日、愛知県進出企業の皆様を対象に意見交換会を実施しましたので、報告させていただきます。意見交換会は、今年度に入り、4回目の開催となります。

また、今回は、Microsoft Teamsを活用し、会場参加とweb参加「ハイブリッド型」にて開催し、会場参加14名、web参加4名の方の参加を頂きました

意見交換会は第一部が講師を招いてのセミナーと、第二部が参加企業の皆様による意見交換会の2部構成として進めさせていただきました。

今回のセミナーは、上海納克名南企業管理諮詢有限公司 小島成樹 より「2025 中国経済について」というテーマにて、講演させていただきました。「自動車業界動向」、「中国経済動向」、「アメリカ経済」、「国際情勢」、として説明させて頂きました。

自動車業界動向の部分では、日系メーカーの中国市場におけるシェアが、20年24.1%をピークに24年11.2%と50%以上低下していることがデータとして明確になっており、自動車業界の日系サプライヤーの苦境が表れていました。

中国経済の動向では、不動産処理、以旧換新（買い替え促進）、金利引き下げ等の状況を解説いたしました。中国におけるデフレ、不況脱却に向けて、各種施策が実行されている印象をもつ一方で、長引く失業率の低迷といったデータからも、回復へ進んでいくという段階にはまだ時間がかかるという印象でしょうか。

後半の意見交換会では、参加者の方から「25年の中国経済は今よりよくなるか？」との質問があり、講師より「自動車製造業の海外生産移管に伴い、人員整理が進む影響があるのと、不動産処理には金利引き下げがまだ不足しているとの考えから、楽観視していない」とのコメントがありました。この辺り多くの方が気になる論点ではないでしょうか？金利の引き下げには、資金流出というデメリットがあるものの、

アメリカ・トランプ大統領への関税政策への対応としても金利引き下げに伴う人民元安というメリットもあるため、今後の対応を注視したいところです。

24 年度の愛知県江蘇省 S D の活動は 3 月末で一区切りとなります。25 年度も 4 月 1 日から再スタートとなります。今回の意見交換会は初参加の方に 4 名もお越し頂きました。新しい参加者を迎えながら、これまでどおり積極的な意見交換ができればと思っております。25 年度も多くの方の参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。